

室蘭市の橋面補修 大学生招き見学会

NIPPO

NIPPOは、北海道室蘭市で施工している「一般国道37号室蘭市白鳥大橋橋面補修工事」(発注者・北海道開発局)の現場で15日、北海道科学大学の学生を対象に見学会を開いた。写真。見学会には道路会社への就職を目指す4年生9人が参加した。



同社が北海道で学生向け現場見学会を開くのは初めて。公共施設の長寿命化のニーズが高まる中、未来の道路技術者を確保・育成する取り組みの一環として開催した。

建設から20年が経過した白鳥大橋の長寿命化を目的に橋面を補修する工事で、橋面舗装に鋼床版を使っている点が特長。参加した学生は「工事現場をじかに見

学したのは初めて。有意義な経験になった」と感想を話した。

4年生対象に見学会

特殊な施工現場を体験

NIPPO

NIPPOは15日、道路会社への就職を目指す北海道科学大学の4年生を対象に「一般国道37号、室蘭市 白鳥大橋橋面補修工事」で見学会を開催した。

この見学会は、道路技術者を志す学生に、特殊

な施工でなかなか経験できない貴重な現場を体験してもらうことが目的で、今回は白鳥大橋での鋼床版橋面舗装の施工現場を見学地を選んだ。白鳥大橋は築20年が経過し、現在行われている補修工事が公共施設の寿命



見学会のもよう

を延ばす必要な役割であることを体験してもらうことで学生たちに未来の舗装技術者としての活躍を願っている。